

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
工法一覧
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル
PF/CD管
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
直ケーブル・ PF/CD管 (混合)
CD管 埋設工法
コンセント ボックス (中空壁)
工法一覧
ケーブル のみ
直ケーブル・ PF/CD管 (混合可)
異種管継手
遮音シート
コンセント ボックス (耐火遮音)
コンセントボックス SW用キット (片壁用)
丸穴貫通 (床用)キット
プロセレクトキット
工法一覧
ケーブル ラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A



片壁(強化せっこうボード2枚張り)の防火区画に設置する  
コンセントボックス部にご使用いただけます。

- 大・深型・4個口へ適用可能です。
- ボックス内の耐火パテが不要です。
- 1キットで複数箇所に施工可能です。

製品仕様

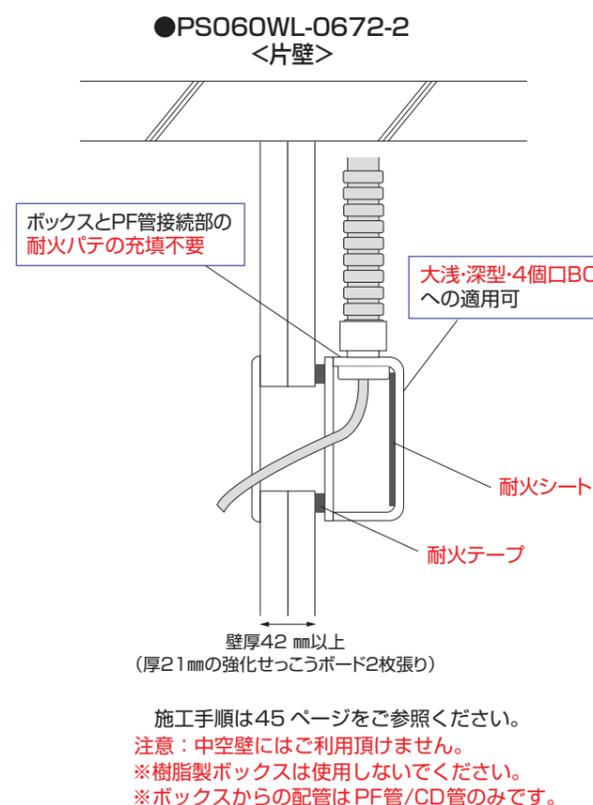
品名	品番	耐火シート(ボックス用)		耐火テープ(塗代カバー用)	
		サイズ(縦×横)	入数/キット	サイズ(幅×長さ)	入数/キット
SW4×4浅・深型用キット	KSW-101	86mm×43mm	12枚	15mm×2,220mm	1巻
SW大浅・深型、2~4個用キット	KSW-102	106mm×47mm	12枚	15mm×2,840mm	1巻

※2品番で7種類のボックスに適用可能です。

◎適応するボックスと耐火シートの使用枚数

コンセントボックスサイズ(mm)	4×4		大型四角		2個用	3個用	4個用
	浅型	深型	浅型	深型			
品名(品番)	SW4×4浅・深型用キット(KSW-101)	2枚	2枚	—	—	—	—
品名(品番)	SW大浅・深型2~4個用キット(KSW-102)	—	—	2枚	2枚	2枚	4枚
施工可能箇所数/キット		6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所

標準施工図

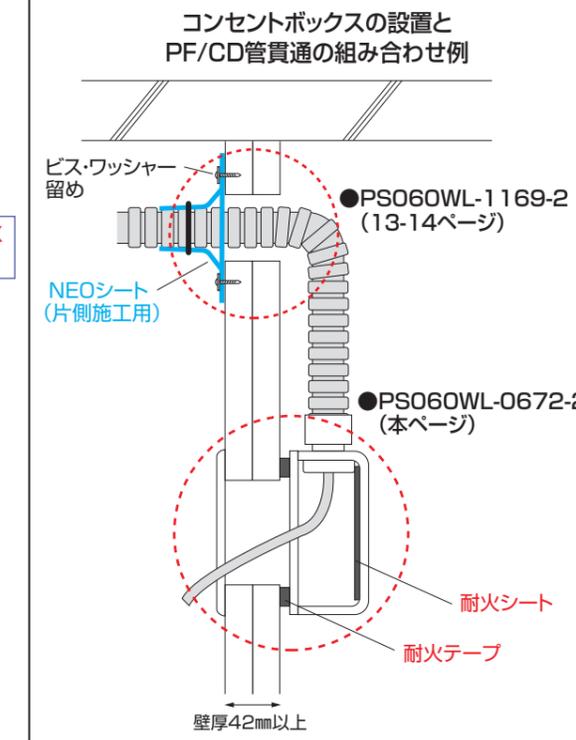


施工手順は45ページをご参照ください。  
注意：中空壁にはご利用頂けません。  
※樹脂製ボックスは使用しないでください。  
※ボックスからの配管はPF管/CD管のみです。

適用範囲

貫通物	PF管/CD管
国土交通大臣認定番号	PS060WL-0672-2
開口寸法	ボックス側 190×92mm以下
壁の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは認定した壁)	片壁(片面強化石膏ボード重張) 厚42mm以上
アウトレットボックス (コンセントボックス)	材料規格 鋼製又は鋳鉄製 サイズ 鋼製 1~4個用ボックス 寸法 228(±4)×117(±4)×54(±4)mm以下
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積 22mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)
合成樹脂製 可とう電線管	PF管/CD管 (JIS C 8411) 呼び径22(外径30.5mm)以下

＜施工応用例＞



※PF管テープ・シートでも組み合わせ可能です。  
PS060WL-0358-1(21ページ)

参考

加熱終了後の鋼製ボックス内部



耐火シートが膨張しボックス内を完全に埋めます。

備考

本認定は国土交通大臣認定の制度に伴い、ケーブルが壁面を貫通した状態の試験に基づく認定となっています。スイッチカバーをつけた状態では区画貫通として扱われませんが、この状態の耐火性能は確認しております。尚、ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

# コンセントボックス SW用キット

製品一覧	NEO	直ケーブル・PF/CD管 (混合可)	コンセントボックス (中空壁)	工法一覧	ケーブル	PF/CD管	直ケーブル・PF/CD管 (混合)	直ケーブル・PF/CD管 (混合)	CD管埋設工法	コンセントボックス (中空壁)	工法一覧	ケーブルのみ	直ケーブル・PF/CD管 (混合可)	異種管継手	遮音シート	コンセントボックス (耐火遮音)	コンセントボックス SW用キット (片壁用)	丸穴貫通 (床用)キット	工法一覧	ケーブルラック	バスダクト	延焼防止シート	関連法規	Q&A
------	-----	--------------------	-----------------	------	------	--------	-------------------	-------------------	---------	-----------------	------	--------	--------------------	-------	-------	------------------	------------------------	--------------	------	---------	-------	---------	------	-----

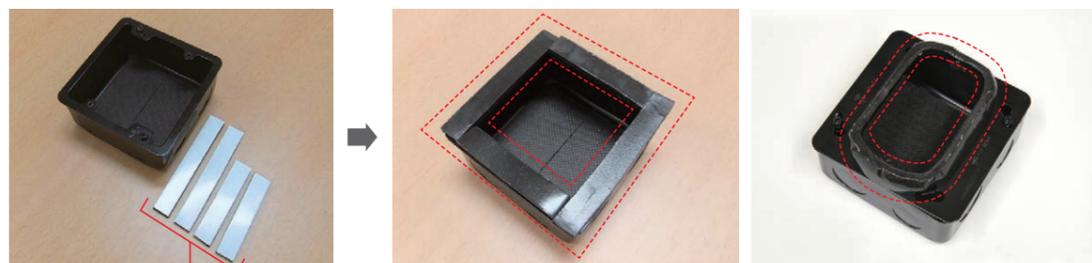
製品一覧	NEO	直ケーブル・PF/CD管 (混合可)	コンセントボックス (中空壁)	工法一覧	ケーブル	PF/CD管	直ケーブル・PF/CD管 (混合)	直ケーブル・PF/CD管 (混合)	CD管埋設工法	コンセントボックス (中空壁)	工法一覧	ケーブルのみ	直ケーブル・PF/CD管 (混合可)	異種管継手	遮音シート	コンセントボックス (耐火遮音)	コンセントボックス SW用キット (片壁用)	丸穴貫通 (床用)キット	工法一覧	ケーブルラック	バスダクト	延焼防止シート	関連法規	Q&A
------	-----	--------------------	-----------------	------	------	--------	-------------------	-------------------	---------	-----------------	------	--------	--------------------	-------	-------	------------------	------------------------	--------------	------	---------	-------	---------	------	-----

## 標準施工方法

- ① 鋼製ボックスサイズが適応範囲であることを確認します。 ※樹脂製ボックスには使用できません。
- ② 「耐火シート」裏面の離型紙をはがし、必要枚数(43ページ参照)をボックスの内側から背面に貼り付けます。



- ③ 塗代カバーの四周に「耐火テープ」を必要長さに切断し、離型紙をはがして貼り付けます。

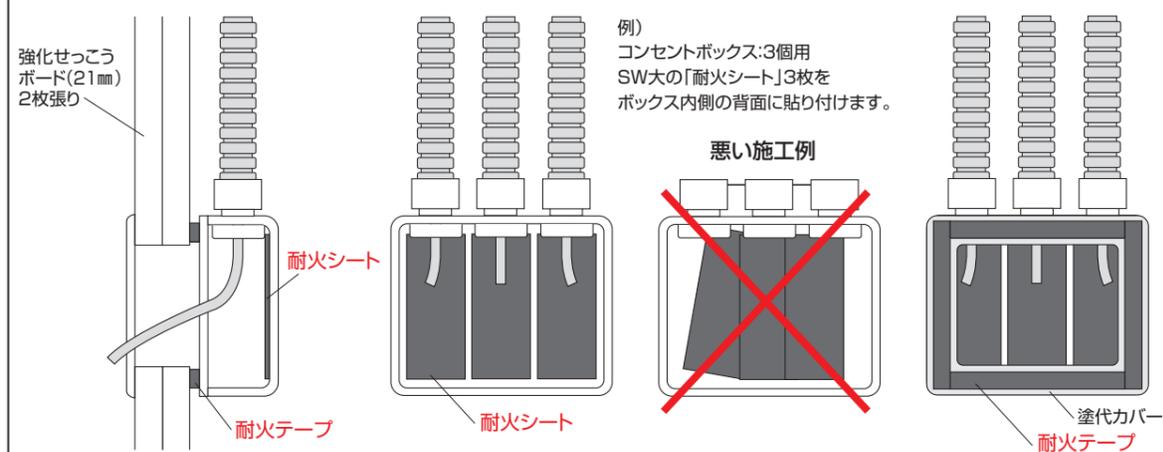


耐火テープ

※小判型の場合の貼付例  
小判型に合わせて「耐火テープ」を  
必要な長さに切断し、離型紙をはがして  
貼り付けます。

- ④ ボックスに支持金具を使用し、壁下地材に取り付けます。
- ⑤ 強化石膏ボードを取り付け、貫通部が適合する穴をあけます(190×92mm以下)。  
注) アウトレットボックス(コンセントボックス)の貫通孔は「耐火シート」で閉塞していることを確認すること。

## 標準施工図



### ご注意

片壁および中空壁におけるコンセントボックスの耐火処理に関し、認定工法の混同にご注意ください。

壁	片壁 (強化せっこうボード2枚張り)	中空壁
断面図	<p>防火区画を形成</p> <p>防火区画を形成 防火区画には無関係</p> <p>防火区画を形成</p> <p>強化せっこうボード重張 壁厚 42mm以上 (21mm x 2枚以上)</p> <p>強化せっこうボード重張 壁厚 42mm以上 (21mm x 2枚以上)</p> <p>ふかし壁 or 雑壁</p> <p>※右図の中空壁工法はご利用頂けません。</p> <p>※左図の片壁工法ではご利用頂けません。</p>	<p>防火区画を形成</p> <p>強化せっこうボード重張 壁厚 42mm以上 (21mm x 2枚以上)</p> <p>ふかし壁 or 雑壁</p> <p>※右図の中空壁工法はご利用頂けません。</p> <p>※左図の片壁工法ではご利用頂けません。</p>
使用部材	<p>KSW-101 KSW-102</p> <p>コンセントボックス SW用キット</p>	<p>ファイブロックNEO 片側施工用</p>
認定工法	●PS060WL-0672-2	●PS060WL-1173-1 ●PS045WL-1177
参照ページ	P.43~45	P.15~16